

# 2024年3月期第2四半期 決算短信補足資料

2023年11月10日

**丸大食品株式会社**

URL <https://www.marudai.jp/>

◇ 2024年3月期 上期連結業績の総括	P. 2
◇ 2024年3月期 上期セグメント別連結業績	P. 3
◇ 2024年3月期 上期連結財政状態	P. 4
◇ 2024年3月期 上期連結業績のポイント	P. 5
◇ 2024年3月期 上期連結キャッシュ・フロー	P. 6
◇ 2024年3月期 通期連結業績計画	P. 7
◇ 2024年3月期 通期セグメント別連結業績計画	P. 8
◇ 主力商品紹介	P. 9

## ■売上高■

新型コロナウイルス感染症の5類移行により行動制限の緩和が進み人流が活発化、インバウンド需要や外食需要が回復し、外食産業やコンビニエンスストア向け商品、デザート類などの販売が伸長したことから、前年同期比3.2%の増収。

## ■営業利益■

原材料価格の高騰などコスト増加要因があるも、価格改定効果や加工食品事業の増収が寄与したほか、合理化によるコスト削減に努めたことなどから、1,482百万円の黒字。

## ■親会社株主に帰属する四半期純利益■

構造改革費用438百万円を特別損失として計上するも、営業利益が黒字に転換したことから、983百万円の黒字。

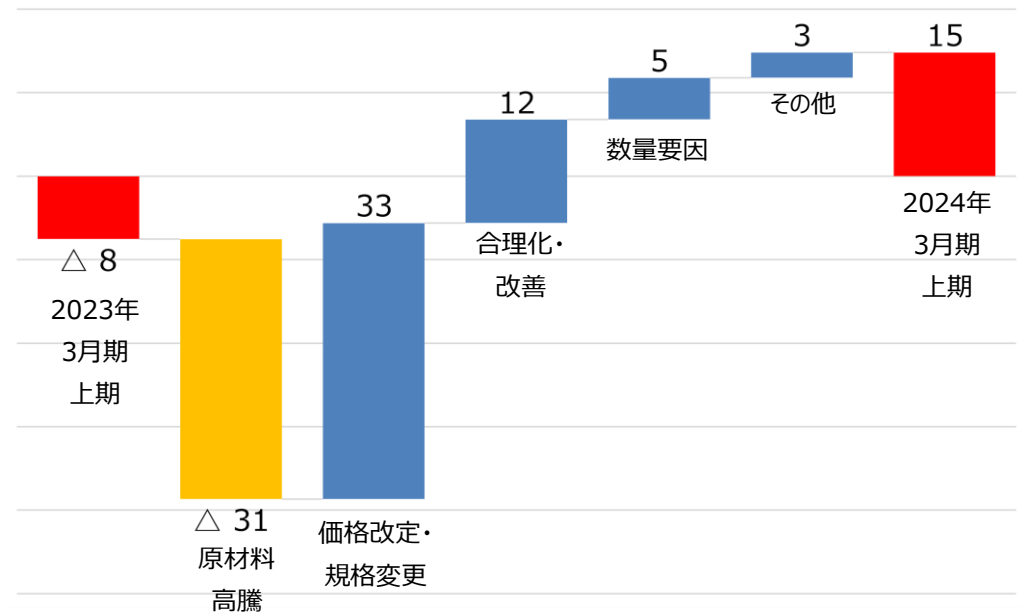
(単位：百万円)

	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期実績	2024年3月期 上期実績		
				対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	109,204	110,557	114,118	3,560	3.2%
営業利益 (売上高比率)	101 (0.1%)	△754 (△0.7%)	1,482 (1.3%)	2,237 (2.0%)	- -
経常利益 (売上高比率)	356 (0.3%)	△515 (△0.5%)	1,738 (1.5%)	2,254 (2.0%)	- -
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比率)	98 (0.1%)	△575 (△0.5%)	983 (0.9%)	1,558 (1.4%)	- -
1株当たり 四半期純利益	3.88円	△22.87円	39.34円	62.21円	-

## 営業利益増減要因

■増加 ■減少 ■合計

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります。

(単位：百万円)

	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期実績	2024年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
加工食品事業	74,337	73,414	76,103	2,689	3.7%
ハム・ソーセージ	33,028	31,323	31,770	446	1.4%
調理加工食品	41,308	42,091	44,333	2,242	5.3%
食肉事業	34,783	37,075	37,958	882	2.4%
その他	83	67	56	△ 11	△ 16.6%
売上高	109,204	110,557	114,118	3,560	3.2%
加工食品事業 (売上高比率)	△ 239 (△0.3%)	△ 767 (△1.0%)	1,146 (1.5%)	1,914 (2.5%)	-
食肉事業 (売上高比率)	308 (0.9%)	△ 6 (△0.0%)	321 (0.8%)	327 (0.8%)	-
その他	33	19	14	△ 5	△ 26.2%
セグメント利益 (売上高比率)	101 (0.1%)	△ 754 (△0.7%)	1,482 (1.3%)	2,237 (2.0%)	-

## ■加工食品事業■

〔ハム・ソーセージ部門〕 前年同期比1.4%の増収

- ・主力商品の「燻製屋」シリーズから、他社とのコラボ商品第2弾として「燻製屋熟成あらびきポークウインナー沖縄南部島唐辛子」を数量限定で発売するなど、拡販に努める。
- ・新商品として人気キャラクターを使用した「BT21ひとくちカルパス」や「ハイキュー!! フィッシュソーセージ」などを投入し売上拡大を図る。

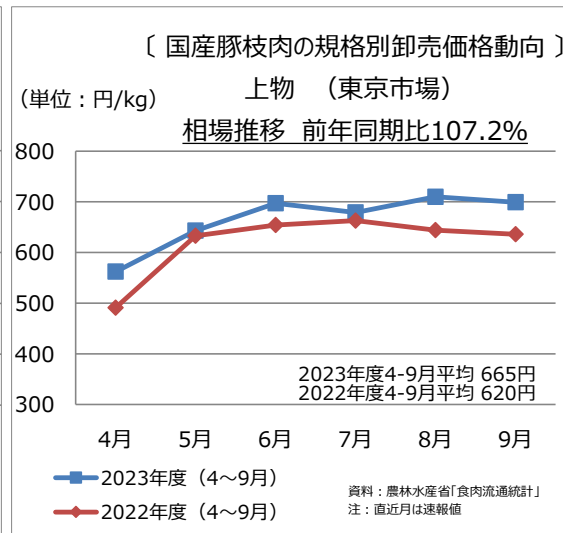
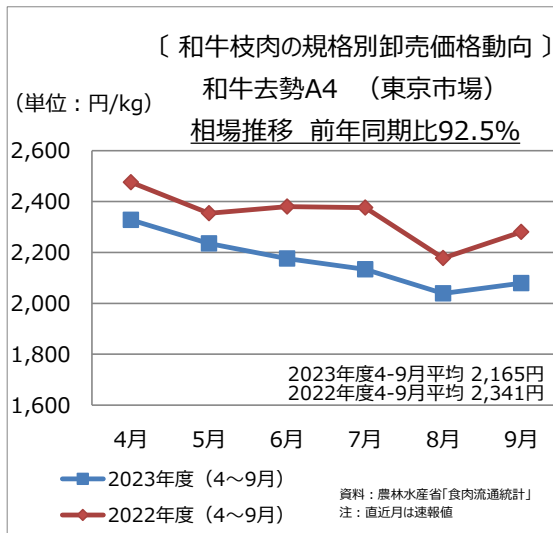
〔調理加工食品部門〕 前年同期比5.3%の増収

- ・コンビニエンスストア向け商品やデザート類の売上高が堅調に推移。
- ・「サラダチキン」シリーズが好調に推移。
- ・主力の「ビストロ倶楽部濃厚カレー」シリーズの拡販に努める。

【総括】

売上高は、前年同期比3.7%の増収。  
セグメント利益は、原材料価格の高騰などコスト増加要因があるも、価格改定による効果や合理化などのコスト削減に努めた結果、1,146百万円（前年同期は△767百万円の損失）。

## 〔資料：枝肉規格別卸売価格動向〕



## ■食肉事業■

〔牛肉〕 前年売上高を確保

- ・消費者の節約志向の高まりから量販店向け販売は伸び悩む。
- ・外食産業向けの需要が順調に推移。

〔豚肉〕 前年同期比増収

- ・量販店向けの輸入豚肉の販売が好調に推移。
- ・外食産業向けの需要が回復してきていることなどから、国産、輸入ともに売上高は前年を上回る。

【総括】

売上高は、前年同期比2.4%の増収。  
セグメント利益は、321百万円（前年同期は△6百万円の損失）。

# 2024年3月期 上期連結財政状態



(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年3月期	2024年3月期	対前期末 増減額		2023年3月期	2023年3月期	2024年3月期	対前期末 増減額
	第2四半期末	期末	第2四半期末			第2四半期末	期末	第2四半期末	
現金及び預金	7,383	6,916	8,648	1,732	仕入債務	22,954	20,754	24,086	3,332
売上債権	24,044	23,897	28,442	4,545	有利子負債	23,524	22,790	26,145	3,355
棚卸資産	20,232	19,231	21,130	1,898	その他	11,801	13,702	14,191	488
その他の資産	1,624	1,371	1,253	△118	負債合計	58,280	57,246	64,423	7,176
流動資産合計	53,285	51,416	59,475	8,058	株主資本	68,260	63,848	64,053	205
有形固定資産	60,186	57,319	55,879	△1,440	その他の包括利益累計額	4,928	4,483	6,265	1,782
無形固定資産	1,907	1,573	1,222	△350	非支配株主持分	662	682	707	24
投資その他の資産	16,752	15,951	18,874	2,922	純資産合計	73,851	69,014	71,027	2,012
固定資産合計	78,846	74,844	75,975	1,131	負債純資産合計	132,132	126,261	135,450	9,189
資産合計	132,132	126,261	135,450	9,189					

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

## ■設備投資・減価償却費の状況■

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期 増減額
	上期	通期	上期	
設備投資	3,628	6,859	2,354	△1,273
減価償却費	3,767	7,693	3,524	△243

## ■自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況■

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年3月期	2024年3月期	対前期末 増減額
	第2四半期末	期末	第2四半期末	
自己資本	73,189	68,331	70,319	1,988
自己資本比率	55.4%	54.1%	51.9%	△2.2%
D/Eレシオ	34.5%	35.7%	40.8%	5.1%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

◆総資産は、売上債権、投資有価証券、現金及び預金、棚卸資産が増加したことなどから、前期末比9,189百万円増加。

◆設備投資は、減価償却費を下回る 2,354百万円を実施。

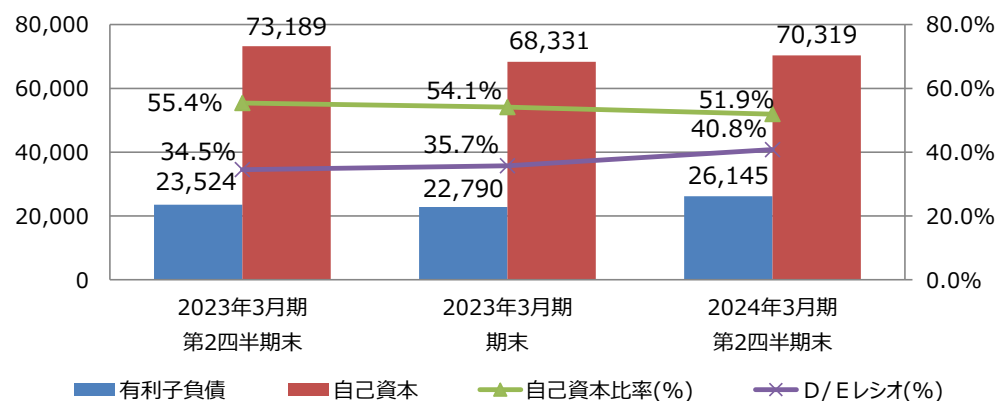
◆負債は、未払金の減少があるも、有利子負債、仕入債務、繰延税金負債が増加したことなどから、前期末比7,176百万円増加。

◆純資産は、剰余金の配当や自己株式の取得があるも、その他有価証券評価差額金の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などから、前期末比2,012百万円増加。

◆自己資本比率は、前期末比△2.2%低下、D/Eレシオは、前期末比5.1%上昇。

(単位：百万円)

有利子負債・自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況



# 2024年3月期 上期連結業績のポイント



(単位：百万円)

	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期実績	2024年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	109,204	110,557	114,118	3,560	3.2%
売上総利益 (売上高比率)	16,605 (15.2%)	15,193 (13.7%)	17,215 (15.1%)	2,022 (1.4%)	13.3% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	16,503 (15.1%)	15,947 (14.4%)	15,732 (13.8%)	△ 215 (△0.6%)	△ 1.3% -
営業利益 (売上高比率)	101 (0.1%)	△ 754 (△0.7%)	1,482 (1.3%)	2,237 (2.0%)	- -
営業外損益	255	238	255	16	-
営業外収益	406	380	422	42	-
営業外費用	151	141	166	25	-
経常利益 (売上高比率)	356 (0.3%)	△ 515 (△0.5%)	1,738 (1.5%)	2,254 (2.0%)	- -
特別損益	△ 126	△ 91	△ 474	△ 382	-
特別利益	129	41	4	△ 36	-
特別損失	255	132	479	346	-
税金等調整前 四半期純利益	230	△ 607	1,264	1,871	-
法人税等合計	117	△ 40	252	292	-
四半期純利益	113	△ 567	1,011	1,579	-
非支配株主に帰属する 四半期純利益	14	8	28	20	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	98	△ 575	983	1,558	-

## 増 減 要 因

### ■売上総利益■

原材料価格の高騰などの影響があるも、価格改定や合理化による収益改善などから、2,022百万円（前年同期比13.3%）の増益。  
売上高比率は15.1%、前年同期比1.4%の上昇。

### ■販売費及び一般管理費■

コスト削減に努め、△215百万円（前年同期比△1.3%）の減少。  
売上高比率は13.8%、前年同期比△0.6%の低下。

(単位：百万円)

	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期実績	2024年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
人件費	5,035	4,898	4,761	△ 137
配送費	6,186	6,003	5,946	△ 56
その他	5,282	5,046	5,024	△ 21
合計	16,503	15,947	15,732	△ 215

### ■営業外損益■

(単位：百万円)

	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期実績	2024年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
受取利息・配当金	169	171	173	2
その他	237	209	248	39
営業外収益計	406	380	422	42
支払利息	111	112	117	4
その他	39	28	49	20
営業外費用計	151	141	166	25

### ■特別損益■

(単位：百万円)

	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期実績	2024年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
固定資産処分益	129	41	4	△ 36
特別利益計	129	41	4	△ 36
固定資産処分損	222	124	36	△ 87
減損損失	9	8	3	△ 4
構造改革費用	-	-	438	438
投資有価証券評価損	24	-	-	-
特別損失計	255	132	479	346

### ■ 営業活動によるCF ■

運転資金の増加による減少要因があるも、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、2,963百万円増加。

### ■ 投資活動によるCF ■

生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産取得による支出などから、△3,404百万円減少。

### ■ 財務活動によるCF ■

配当金の支払いや自己株式の取得による支出があるも、有利子負債の増加などから、2,173百万円増加。

(単位：百万円)

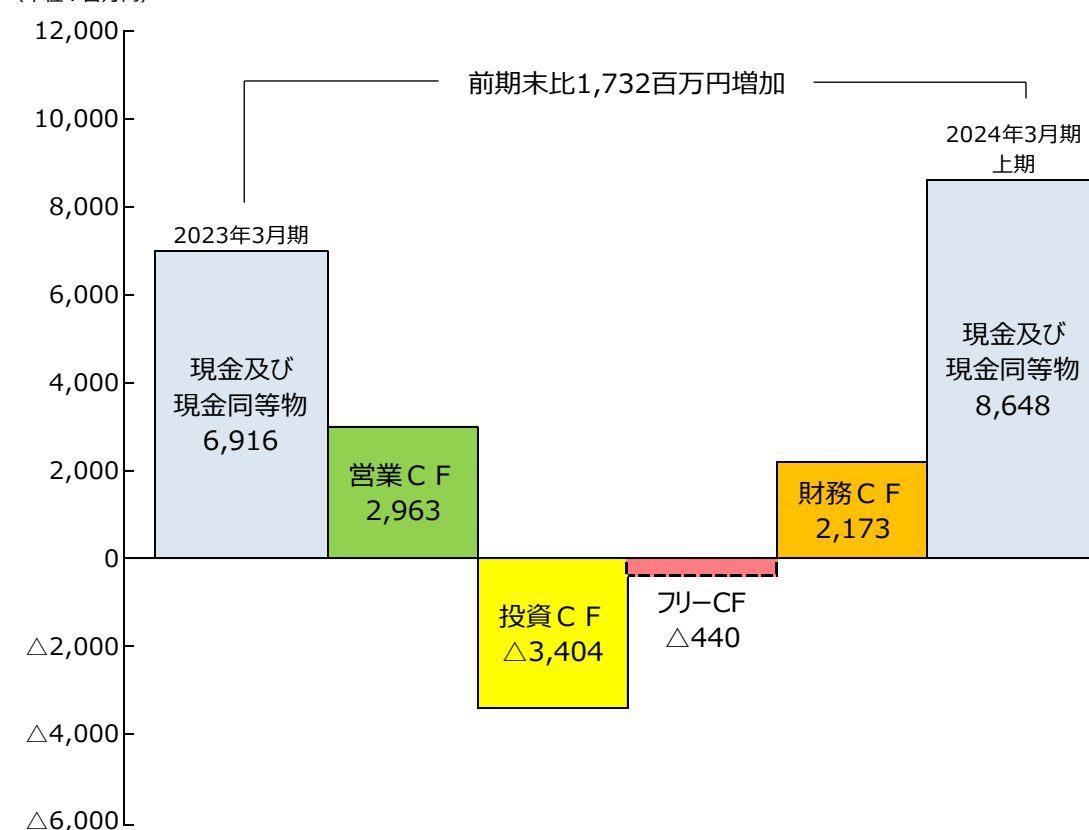
	2023年3月期	2024年3月期	
	上期実績	上期実績	対前期増減額
営業活動によるCF	1,136	2,963	1,826
投資活動によるCF	△2,928	△3,404	△475
フリー・キャッシュ・フロー ※	△1,791	△440	1,350
財務活動によるCF	1,184	2,173	989
現金及び現金同等物の増減額	△607	1,732	-
現金及び現金同等物残高	7,383	8,648	1,265

### ■ 2024年3月期上期連結キャッシュ・フローの主な内訳 ■

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	
	上期実績	上期実績	対前期増減額
◆ 営業活動によるCF ◆			
・税金等調整前四半期純利益	△607	1,264	1,871
・減価償却費	3,767	3,524	△243
・運転資金	△1,891	△3,120	△1,228
・その他	△131	1,295	1,426
◆ 投資活動によるCF ◆			
・固定資産の取得による支出	△3,012	△3,355	△342
・固定資産の売却による収入	153	10	△143
・その他	△69	△59	10
◆ 財務活動によるCF ◆			
・有利子負債増減	2,219	2,955	735
・配当金の支払額	△755	△500	255
・その他	△279	△281	△1

(単位：百万円)



※ フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指す。
- ・「新たな顧客価値の創造」「収益構造の改革」「事業領域の拡大」「人財の育成」「持続可能な社会への貢献」の5つの基本方針を掲げ企業活動を推進。

〔 2024年3月期下期の当社グループを取り巻く環境 〕

- ・個人消費やインバウンド需要に回復の動きが見られるものの、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇による生活必需品の値上げが続くなかで、消費者の節約志向は一層高まっている。
- ・下期は、引き続き構造改革を推進し、工場の合理化による生産性向上やコスト削減に努めるものの、原材料価格の高騰や円安などのコストアップ要因が見込まれるうえに、消費者の節約志向の高まりを受けての販売環境の悪化が懸念されるなど、厳しい環境が続く見通し。

〔 通期業績計画 〕

- ・上記環境を踏まえて見直しを行った結果、2024年3月期通期連結業績計画（業績予想）は、2023年5月12日に公表の計画を据置き。

■ 通期見通し ■

（単位：百万円）

	2022年3月期			2023年3月期			2024年3月期						
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 計画	対前期 増減額	対前期 増減率	通期 計画	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	109,204	109,405	218,610	110,557	111,421	221,979	114,118	112,881	1,460	1.3%	227,000	5,020	2.3%
営業利益 (売上高比率)	101 (0.1%)	△ 966 (△0.9%)	△ 865 (△0.4%)	△ 754 (△0.7%)	△ 645 (△0.6%)	△ 1,400 (△0.6%)	1,482 (1.3%)	17 (0.0%)	662 (0.6%)	-	1,500 (0.7%)	2,900 (1.3%)	-
経常利益 (売上高比率)	356 (0.3%)	△ 737 (△0.7%)	△ 380 (△0.2%)	△ 515 (△0.5%)	△ 381 (△0.3%)	△ 897 (△0.4%)	1,738 (1.5%)	161 (0.1%)	543 (0.4%)	-	1,900 (0.8%)	2,797 (1.2%)	-
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	98 (0.1%)	△ 474 (△0.4%)	△ 376 (△0.2%)	△ 575 (△0.5%)	△ 4,412 (△4.0%)	△ 4,987 (△2.2%)	983 (0.9%)	△ 83 (△ 0.1%)	4,329 (3.9%)	-	900 (0.4%)	5,887 (2.6%)	-
1株当たり 当期純利益	3.88円	△18.76円	△14.88円	△22.87円	△175.90円	△198.77円	39.34円	△3.23円	172.67円	-	36.11円	234.88円	-
1株当たり配当金	-	-	30円	-	-	20円	-	-	-	-	20円	0円	-



# 2024年3月期 通期セグメント別連結業績計画



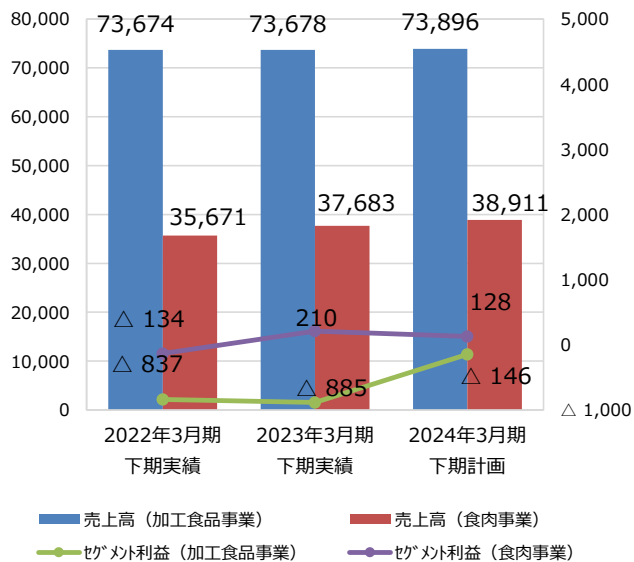
## ■セグメント別通期見通し■

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期			2024年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期増減額	対前期増減率	通期計画	対前期増減額	対前期増減率
加工食品事業	74,337	73,674	148,011	73,414	73,678	147,093	76,103	73,896	217	0.3%	150,000	2,906	2.0%
食肉事業	34,783	35,671	70,455	37,075	37,683	74,758	37,958	38,911	1,228	3.3%	76,870	2,111	2.8%
その他	83	59	143	67	60	127	56	73	13	22.5%	130	2	1.9%
売上高	109,204	109,405	218,610	110,557	111,421	221,979	114,118	112,881	1,460	1.3%	227,000	5,020	2.3%
加工食品事業 (売上高比率)	△ 239 (△0.3%)	△ 837 (△1.1%)	△ 1,076 (△0.7%)	△ 767 (△1.0%)	△ 885 (△1.2%)	△ 1,653 (△1.1%)	1,146 (1.5%)	△ 146 (△0.2%)	738 (1.0%)	-	1,000 (0.7%)	2,653 (1.8%)	-
食肉事業 (売上高比率)	308 (0.9%)	△ 134 (△0.4%)	173 (0.2%)	△ 6 (△0.0%)	210 (0.6%)	203 (0.3%)	321 (0.8%)	128 (0.3%)	△ 81 (△ 0.3%)	△ 38.9%	450 (0.6%)	246 (0.3%)	120.9%
その他	33	5	38	19	29	49	14	35	5	18.5%	50	0	0.6%
セグメント利益 (売上高比率)	101 (0.1%)	△ 966 (△0.9%)	△ 865 (△0.4%)	△ 754 (△0.7%)	△ 645 (△0.6%)	△ 1,400 (△0.6%)	1,482 (1.3%)	17 (0.0%)	662 (0.6%)	-	1,500 (0.7%)	2,900 (1.3%)	-

(単位：百万円)

### 下期実績・計画



### ■加工食品事業■

- ・主力カテゴリ、主力商品の販売強化。
- ・イベント出展、SNSを活用した販売促進活動。
- ・多様化するお客様ニーズに対応した商品展開。  
…エコ包材、健康、ジッパー付、食べ切り、レンジ調理対応商品。
- ・構造改革の推進、生産の合理化、効率化によるコスト削減。

加工食品事業の通期業績は、売上高2.0%増、セグメント利益1,000百万円の計画。

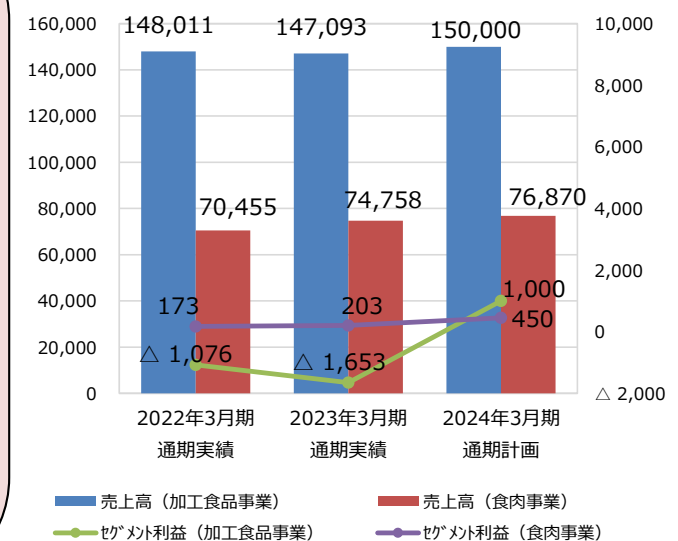
### ■食肉事業■

- ・独自のブランドや、付加価値を訴求した商品展開。  
…アメリカ産「三元豚の彩」、スペイン産「ガリシア栗豚」など。
- ・アウトパック商品の拡大など、食肉加工事業の強化。
- ・外食産業向け商品提案、販売力の強化。

食肉事業の通期業績は、売上高2.8%増、セグメント利益120.9%増を計画。

(単位：百万円)

### 通期実績・計画





加工食品

ハム・ソーセージ部門

**熟成燻製屋**  
くんせいや

燻製屋 熟成あらびきポークウィンナー  
燻製屋 熟成あらびきポークウィンナー ホワイト  
燻製屋 Q・B・チーズ入り

熟成ならではの旨み  
※燻製屋 Q・B・チーズ入りを除く

燻製屋 熟成あらびきポークウィンナー  
燻製屋 熟成あらびきポークウィンナー ホワイト  
燻製屋 熟成あらびきポークウィンナー

**おてがるバル**

スモークタン  
炙り豚ばら

**熟成 王覇**  
のっぺい肉のロースハム  
高成

**たっぷり使えるシリーズ**

たっぷり使えるロースハム 200g  
たっぷり使えるベーコン 180g  
たっぷり使えるバスト完ポーク 180g  
たっぷり使えるウィンナー 247g

ECO 下等肉を有効活用  
※スーパーで販売している肉を有効活用し、使用しています。

**特撰シリーズ**

薄塩の匠  
おいしさそのまま 糖質ゼロ  
特定原材料8品目 使用しておりません

薄塩の匠 特撰ロースハム  
薄塩の匠 特撰ホワイトロースハム  
薄塩の匠 特撰ももハム  
薄塩の匠 特撰ベーコン

**煌彩**

ロースハム 特撰  
ホワイトももハム 特撰  
ロースハム 特撰  
ベーコン 特撰  
ソーセージ 特撰

ロースハム  
パンチッパ  
ソーセージ

**SPECIAL GIFT**

Smoked Loin Ham  
Loin Ham with Mashed Potato  
Smoked Bacon

©2023 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映

調理加工食品部門

**スパウ**

韓国家庭料理  
15年連続No.1  
NEW  
豆腐があればすぐできる

3袋タイプ

**濃厚 シチュー**

ピストロ 倶楽部  
濃厚 シチュー  
濃厚 シチュー

**Cafelf**

チョコレート スコーン  
アールグレイ スコーン  
キャラメル スコーン

**EMIAL**

甘揚 露枝  
楊枝甘露  
奶茶 白桃

**ジュレパルフェ**

3層仕立てのジュレパルフェ

**神戸プリン**

いちごのショートケーキ味  
神戸プリン 30周年記念 特別企画商品

# 丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。